

第2回岡山県地域産業成長プランに係る有識者会議 次第

日 時 令和8(2026)年6月2日(火)

13:30~15:00

会 場 県庁 3階大会議室

1 開 会

2 県から素案等の説明

3 有識者から意見聴取

- ・地域産業成長プラン素案について
- ・その他

4 閉 会

第2回岡山県地域産業成長プランに係る有識者会議 出席者名簿

所 属 ・ 役 職		氏 名
岡山県経済団体連絡協議会 事務局長		神 崎 浩 二
(一社)岡山県商工会議所連合会 専務理事		高 橋 邦 彰
岡山県経営者協会 専務理事		西 谷 治 朗
(一社)岡山経済同友会 専務理事		久 山 裕 士
岡山県中小企業団体中央会 専務理事		脇 本 靖
岡山県商工会連合会 専務理事		小 寺 弘 城
国立大学法人岡山大学 研究・イノベーション共創機構 産学官連携本部長		今 井 明
学校法人加計学園岡山理科大学 研究・社会連携センター長		清 水 一 郎
(株)日本政策投資銀行岡山事務所 所長		長 澤 健 一
岡山県銀行協会 (株)中国銀行 取締役常務執行役員)		西明寺 康 典
(公財)岡山県産業振興財団 専務理事		清 水 生 三
岡山県市長会 会長 (浅口市長)		栗 山 康 彦
岡山県町村会 事務局長		池 永 亘
岡 山 県	産業労働部 部長	坂 本 洋 介
	産業労働部 次長	草 替 隆 樹
	産業労働部 産業企画課長	菱 川 満
	産業労働部 産業企画課マーケティング推進室長	岡 崎 将 丈
	産業労働部 産業振興課長	横 田 健 二
	産業労働部 観光課長	濱 田 祐 一
	農林水産部 農政企画課長	塩 飽 成 史
	農林水産部 農産課園芸振興班総括参事	高 桑 利 明

第2回

岡山県地域産業成長プランに係る有識者会議資料

令和8年6月2日



岡山県

- 1 地域産業成長プランに係る分野の選定
- 2 地域産業成長プラン 素案
 - (1) 地域産業クラスター計画で検討中の分野
 - GX
 - 自動車関連
 - 半導体関連
 - (2) 地場産業成長プランで検討中の分野

1 地域産業成長プランに係る分野の選定

①第1回有識者会議(R8.4.28)で出された主な意見について (1/2)

GX

- 水島コンビナートは産業基盤の中核だ。GX拠点として位置付け戦略的に投資を呼び込むべき。
- 製造品出荷額の約5割を占める水島地域をGXを絡めてどう生かすかが重要だ。
- 国の施策に基づく水島コンビナートの再生との整合性もクラスター選定の際に考慮すべき。
- 水島はGX投資等で今後成長の可能性があり、県全体を底上げすることも考えられる。

自動車 関連

- 自動車関連産業などの集積は強み。既存のクラスターをもとに雇用の場を広げてほしい。
- 学生にとって環境負荷を抑えることは魅力的なテーマに映る。EVシフトは強み。
- 付加価値構成比での強みがある自動車や食品加工は地場産業が中心。クラスターに有力だ。

繊維

- 県南の繊維産業の歴史を鑑みて、繊維はプランに位置付けるべき。
- 昔から県が強い分野であり、魅力的な産業に成長すれば、学生が就職しやすい分野になる。

半導体 関連

- 魅力ある職場、雇用を生む産業として、半導体の製造装置等は参考になる分野ではないか。
- 若者が開発者や研究者として活躍できる産業を育ててほしい。

第1回有識者会議(R8.4.28)で出された主な意見について (2/2)

食料品・ 食品加工

- 高付加価値農業といった岡山の強みを生かし、商品開発や販路開拓を行う企業が多い。
- 付加価値構成比での強みがある自動車や食品加工は地場産業が中心。クラスターに有力だ。【再掲】

農業・ 農産物

- 白桃、マスカットに代表される高付加価値農業は外貨も稼ぐ成長産業として捉えるべき。
- 農業から様々な産業が生まれた歴史を鑑みて、農業はプランに位置付けるべき。

健康・医療 ・福祉

- 医療・福祉関係の施設・従事者、関連学部を有する大学、関連企業の集積がある。
- 県には優れた医療機関が多く、医療関係も高齢化時代を迎えて重要な分野になる。

観光

- 外貨獲得、雇用創出、域外からの投資等が期待できる。
- 稲作や林業などは単体での産業規模は小さいが、6次産業や観光のネタとすれば大きな意味を持つ。

その他

- 県と国で支援対象が異なる場合があるため、国の計画と重複した項目を入れることも検討するべき。
- 複数の産業がバランスよく存在している。それらをつなぐことで新たな付加価値を生み出していくべき。
- 若者の人材定着こそがあらゆる産業クラスターの基盤になる。若者や女性が活躍したい地域にすることを産業クラスターも考えるべき。

②地域産業成長プラン策定にあたっての考え方（1/2）

○背景

- ・ 急速な人口減少による国内需要の縮小、労働力不足
- ・ AI、DX、脱炭素化など世界的な産業構造の変化

○県産業のポテンシャル

- ・ 製造業などの第2次産業の割合が高く、「ものづくり」産業が本県経済の特徴
- ・ 県全体の出荷額等の約半分を占める水島コンビナートに幅広い分野の企業が集積
- ・ 自動車産業は製造品出荷額及び従業員数いずれも県全体の1割を占める基幹産業
- ・ 恵まれた観光資源や国内外に誇る高品質な農林水産物などの魅力的な地域資源
- ・ 科学技術に関連した大学、短期大学の学部数や工業系の高校の数が多い

本県の強みを生かし、生産性向上・競争力強化

県内への投資促進・県内産業の持続的発展

地域産業成長プラン策定にあたっての考え方（2/2）

○地域産業成長プランの主要要件等

地域産業クラスター計画

地場産業成長プラン

策定
主体

都道府県等

都道府県又は市町村

計画
期間

10年以内の実現を目標とした5年間の計画を基本とする

主要
要件

- 製品・サービスが海外輸出で外貨を稼げる又は国内で上位シェアを目指せるもの【**有望度**】
 - 計画推進の核となる企業等が存在していること【**実現可能性**】
 - 域内への波及効果として、域内取引額、売上額、持続可能な労働環境の整備に関する目標値を設定できていること【**域内への波及**】
 - 計画期間中の継続的な自治体の伴走支援体制があること【**自治体のコミットメント**】
- 既存製品・サービスと比較して付加価値を高める又は販路拡大が見込まれるもの【**有望度**】
 - 推進の核となる事業者が存在していること【**実現可能性**】
 - 域内への波及効果として、域内取引額、売上額、持続可能な労働環境の整備に関する目標値を設定できていること【**域内への波及**】
 - 自治体で相談窓口を設置していること【**自治体のコミットメント**】

③第1弾提出・公表に向けて検討中の分野

【中国経済産業局】 戦略産業クラスター計画 の素案 (令和8年5月公表)

半 導 体

G X

コ ン テ ン ツ

造 船

も の づ く り

【岡山県】 地域産業成長プランの素案

地域産業クラスター計画

地場産業成長プラン

G X※

自動車関連

半導体関連

観 光

県産果物

繊維(デニム)

日本酒

食料加工品

工芸・雑貨

※GX戦略地域の選定状況を踏まえ計画策定を検討

2 地域産業成長プラン 素案

(1) 地域産業クラスター計画で検討中の分野

G X ～より厚みのある産業構造への転換～

【概要】

2050年カーボンニュートラル実現に向け、水島コンビナート各社が連携して実施する、脱炭素と経済成長を同時に実現するGXの取組を支援し、より厚みのある産業構造への転換を図る。

【有望度・実現可能性】

GX関連企業が集積

- ・石油精製、石油化学、鉄鋼、自動車など、GX関連企業が集積し、CCS、CCU、ケミカルリサイクル、革新技术を用いた製鉄プロセス転換等の取組を推進中である。
- ・総合特区に指定された全国で唯一のコンビナートであり、規制緩和、金融支援等を実施中である。

【域内への波及】

新たなGX関連産業の創出

- ・令和8年4月に、国の「GX戦略地域制度」の有望地域に選定されたところであり、夏頃に最終選定が行われる予定である。
- ・グリーン基礎化学品の初期生産設備設置、パワーエレクトロニクス関連企業の誘致、コンテナ型データセンターの整備など、新たな産業の創出を図る。

【自治体のコミットメント】

産学官の推進体制が確立

- ・平成13年3月に産学官連携の「水島工業地帯産学官懇談会」を設立しており、県が主導で伴走支援する体制が既に構築されている。
- ・県、倉敷市が事務局となり、毎月1回のペースで、水島コンビナート各社が集まり、カーボンニュートラル実現等に向けた会議を開催している。

水島コンビナートのGXに係る企業一覧
(水島コンビナート発展推進協議会)



自動車関連 ～雇用や経済を支える基幹産業の強化～

【概要】

自動車産業を取り巻く急速な環境変化に対応するため、設備投資、研究開発等の支援や、人材育成、サプライチェーンの強化等を通じ、基幹産業の一層の底上げを図る。

【有望度・実現可能性】

自動車関連企業が集積

- ・県内の完成車メーカーを中心に、県内全域に部品製造を支える多くのサプライヤーが集積している。
- ・世界市場におけるEV化やSDV化・環境規制等の変革を好機と捉え、再生材や軽量化など需要拡大が見込まれる高付加価値分野の技術開発を促進する。

【域内への波及】

サプライチェーンの底上げと経済波及

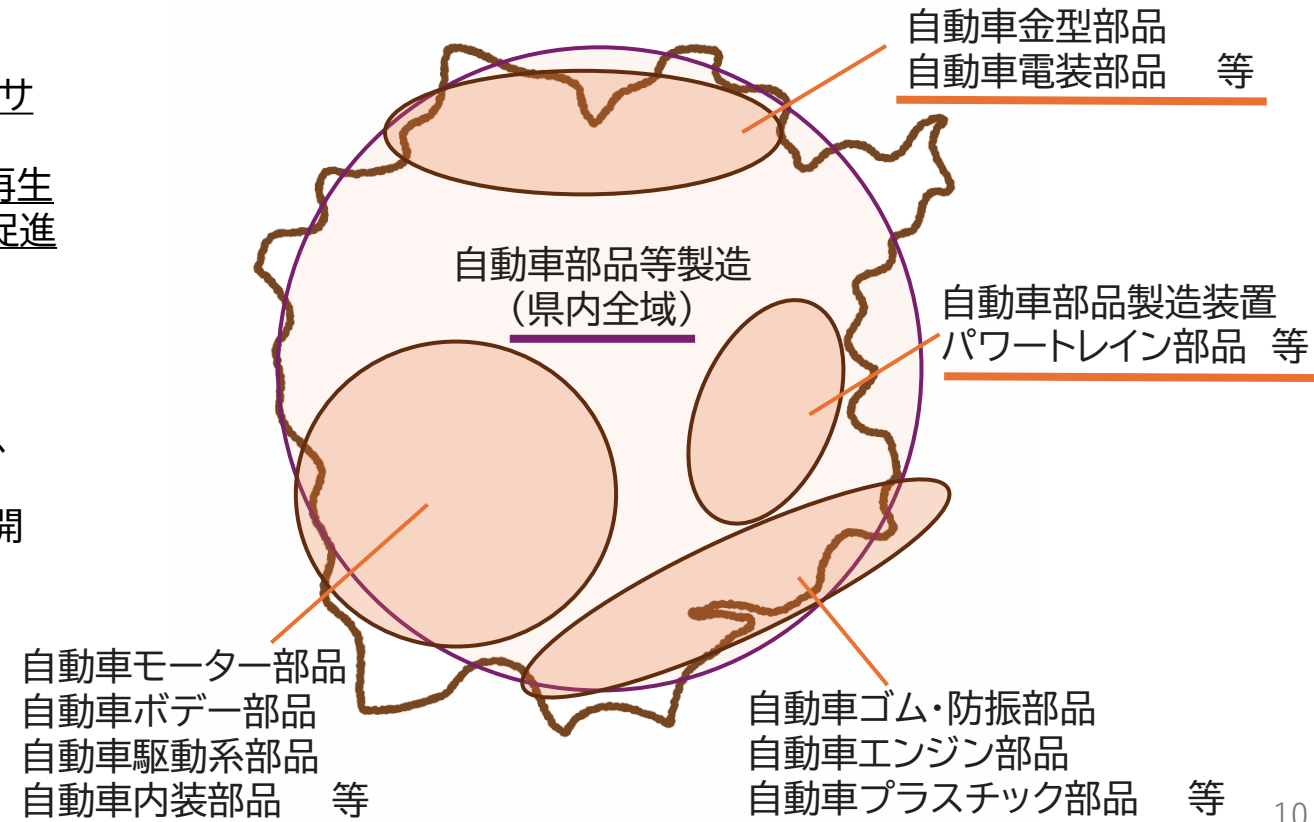
- ・中核となる企業で次世代自動車関連部品の受注が拡大することにより、域内企業への発注増加につながる。
- ・自動車業界の多岐に渡る課題に対し、企業間連携による主体的な研究開発に取り組むことで、企業の持続的な成長と地域全体の活性化を図る。

【自治体のコミットメント】

産学官の推進体制が確立

- ・岡山県自動車関連企業ネットワーク会議を設立しており、県が主導で伴走支援する体制が既に構築されている。

県内の主な自動車関連企業の集積状況



半導体関連 ～成長分野における競争力強化～

【概要】

国の戦略17分野にも位置付けられ、官民投資が期待される半導体産業について、設備投資、研究開発等の支援や、人材育成、サプライチェーンの強化等を通じ、さらなる産業集積と競争力強化を図る。

【有望度・実現可能性】

半導体関連企業が集積

- ・世界的な半導体需要の拡大を背景に、県内の半導体関連分野も成長が期待される。
- ・県内には、半導体関連分野を手掛けるものづくり企業(装置・デバイス・素材・部品加工等)が集積しており、今後の半導体市場拡大に伴い、これら企業の技術や生産能力を生かした一層の産業集積と長期的な成長が期待される。

【域内への波及】

異業種からの新規参入等

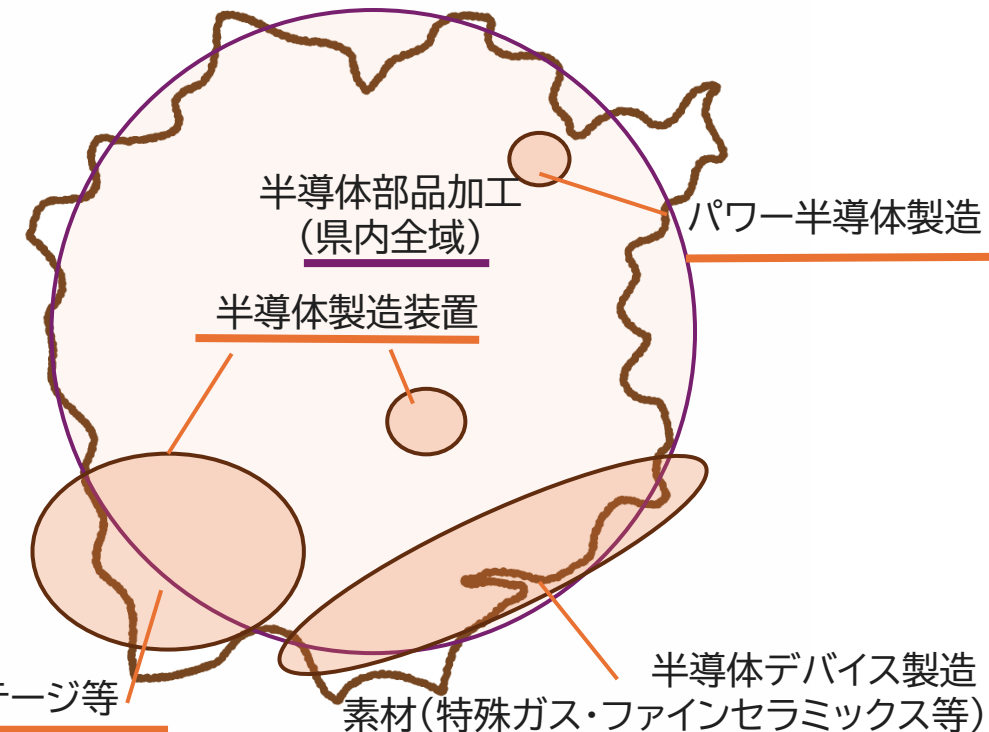
- ・クラスター形成による新規雇用創出、地域経済の活性化のほか、水島コンビナートなどで培った伝統的な高度ものづくり技術(自動車、鉄鋼、化学等)を生かした異業種から半導体関連分野への新規参入が見込まれる。

【自治体のコミットメント】

産学官の推進体制が確立

- ・おかやま半導体関連コンソーシアムを設立しており、県が主導で伴走支援する体制が既に構築されている。

半導体製造工程に係る主な企業の集積状況



2 地域産業成長プラン 素案

(2) 地場産業成長プランで検討中の分野

観光

本県ならではの地域資源を活用し、高付加価値な滞在型観光コンテンツの造成等を支援することで、域外需要の取り込みを図るとともに、宿泊、飲食事業者等への波及を通じて、地域経済の一層の拡大につなげる。

- 岡山後楽園、倉敷美観地区、瀬戸内海、美作三湯、森の芸術祭、フルーツ、備前焼等、国内外の旅行者へ訴求できる地域資源が県内各地に存在
- 地域資源を組み合わせるにより、高付加価値な滞在型観光コンテンツを造成
- 県と県観光連盟が連携し、コンテンツの磨き上げ、販路開拓等について支援

繊維(デニム)

本県で生産されるデニム、ジーンズなど高付加価値の繊維製品の認知度を高め、国内外のマーケットへのさらなる売り込みを目指す。

- 倉敷市児島や井原市を中心にデニム関連企業が多く集積
- 国産デニムを調達するには2, 3年待ちで今後も欧米やアジア諸国から堅調な需要が見込まれる
- 自治体による認知度向上支援及び海外進出支援

県産果物(桃、ぶどう、晴苺)

産地の規模拡大や生産性の向上、担い手の確保・育成、首都圏や海外でのブランド強化、加工や6次産業化等の取組による、高品質な桃、ぶどう、晴苺の供給力強化を図る。

- 桃、ぶどうは国内外から評価が高く、晴苺も市場からの期待が高い
- 県内には、高い栽培技術を持つ生産者が多く存在
- 県、市町村、農業団体等が推進体制を構築

日本酒

「雄町」を本県における歴史的・系譜的な起点を持つ酒造好適米として位置付け、その背景や物語とともに国内外へ発信することで、日本酒産地としての岡山の評価を向上させ、日本酒を核とした持続的な地場産業成長モデルの確立を目指す。

- 「雄町」は国内外で評価実績があり、産地としての意味付けや発信を加えることで、付加価値向上や単価上昇が見込まれる
- 首都圏・海外市場では原産地や背景を重視する傾向が強い
- 県が県酒造組合や各種支援団体と連携し、事業者の販路開拓や連携を促進

食料加工品(菓子類、調味料など)

原材料調達から加工・販売までを一体的に高度化し、市場評価の獲得と販路拡大を通じて価格形成力を高め、付加価値の県内還流と持続的成長を目指す。

- 原材料の品質と地域性を背景に、ストーリー性の付加等による高付加価値化・販路拡大が期待できる
- 県中小企業団体中央会を核とした原材料供給から販売までの連携体制を整備
- 県を主体に県中小企業団体中央会と連携し、相談窓口の設置や商品開発に関する助言、商談機会の提供などの伴走支援

工芸・雑貨(陶器、い草製品など)

素材・技術、商品化、販売を一体的に高度化し、市場評価の獲得を通じて価格形成力と収益性を高め、付加価値の県内還流と持続的成長を目指す。

- 地域素材や技術、デザイン性を生かし、ストーリー性の付加による高付加価値化・販路拡大が期待できる
- 県産業振興財団を核とした事業者や支援機関との連携体制を整備
- 県を主体に県産業振興財団や商工団体と連携し、商品企画、販路開拓など段階に応じた伴走支援

【参考】 その他分野・今後のスケジュールについて

■ その他第1回有識者会議で意見が出された分野

農業用機械、造船関連、林業、健康・医療・福祉、スポーツ

■ 今後のスケジュール

県

国

5月		
6月	第2回有識者会議	支援施策等を政策パッケージとして取りまとめ (地域未来戦略閣議決定) (戦略産業クラスター計画策定)
7月	第3回有識者会議(地域産業成長プラン案) 地域産業成長プランの公表・提出	
8月		地域産業成長プランの取りまとめ

【参考】地域産業成長プランについて

【国】地域未来戦略

地域ごとの産業クラスターを戦略的に形成するとともに、地場産業の付加価値向上と販路開拓を強力に支援

【中国経済産業局】戦略産業クラスター計画

日本成長戦略本部における、17の戦略分野に関する検討が主導する形で企業の大規模投資を中心に形成されるもの
道路、工業用水など必要なインフラ整備や分野特有の拠点整備等、産業人材育成等を一体的に実施

【岡山県】地域産業成長プラン

地域産業クラスター計画

力を入れる産業分野及び重点支援をすべき企業等を特定し、国の施策の戦略的活用をプッシュ型で提案していくことで、知事等主導の産業クラスターの形成・拡大を目指すもの

地場産業成長プラン

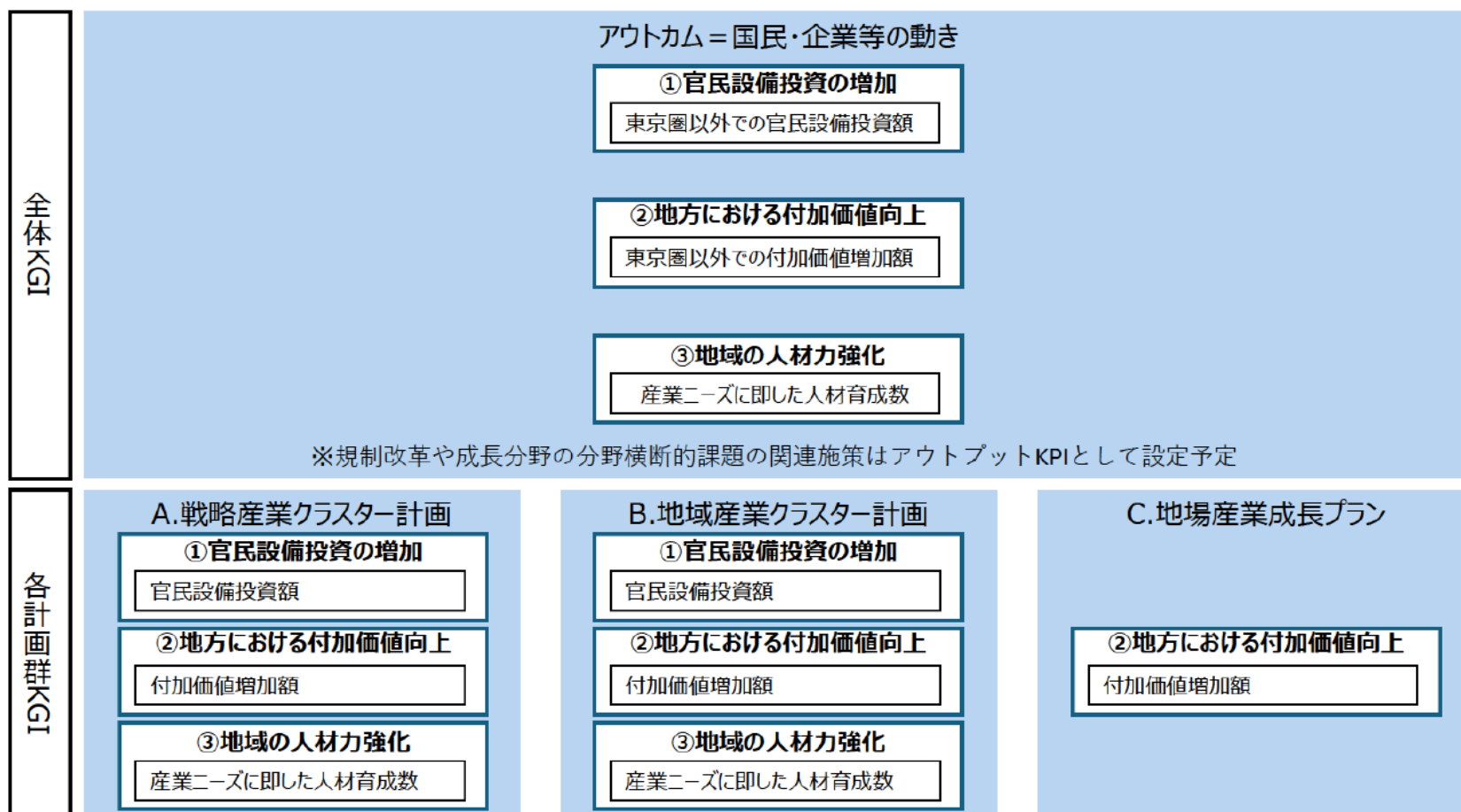
魅力あふれる地域資源（農林水産・食品、観光等）を活用し、付加価値の創出と地産外商の推進を図り、地域経済の一層の拡大を目指すもの

【参考】政策パッケージで目指すべき成果（KGI）の考え方

地域未来戦略に関する関係副大臣等
会議(第3回)資料抜粋(R8.5.18)

①政策パッケージで目指すべき成果(KGI)の考え方

- 政策パッケージ全体の目指すべき成果(全体KGI)には④民間設備投資額の増加、②付加価値向上、③人材力強化を設定



【参考】中国地域戦略産業クラスター計画の素案

地域未来戦略に関する関係副大臣等
会議(第3回)資料抜粋(R8.5.18)

中国地域産業クラスターの概要

産学官連携による大規模投資を呼び込むため、5分野の産業クラスター形成を進める。
また、横断的課題への対応として、地域の脱炭素エネルギーの活用、人材確保・人材育成、生産性向上、スタートアップ育成・支援等に、地域関係者が一体的に取り組む。

半導体

- ✓ 世界基準の半導体関連産業クラスターの形成

GX

- ✓ エネルギー多消費型産業におけるGXの実現

コンテンツ

- ✓ コンテンツ拠点がつなぐ「ディープ&カルチュラル・アドベンチャー
ツーリズム」の構築
神話・漫画等のコンテンツとたたら・デニム等のものづくりが織りなす高付加価値の創出

造船

- ✓ 我が国の経済活動を支える造船関連産業の再生・強化

ものづくり

- ✓ ものづくり産業 世界に誇る「ものづくり産業」の進化